

居住支援勉強会実施報告書

日時	令和2年10月3日（土）14：00～16：00
場所	鍋島シエストビル1F カフェハーモニー鍋島
テーマ	高齢者・障がい者・生活弱者の方々の住まいの安心を考える
講師	塚原 功 氏（NPO法人空家・空地活用サポートSAGA代表理事） 愛称：そらそら
講演名	医療関係者と考える退院支援と居住支援
参加者	医療関係者5名
	地域包括支援センター1名
	障害者就業・生活支援センター1名
	その他1名

NPO 法人市民生活支援センターふくしの家 主催の勉強会に NPO 法人空家・空地活用サポート SAGA 代表理事の塚原功氏を招き基調講演と座談会に登壇して頂きました。

今回は医療関係者と考えるという特化した内容のため佐賀市内の入院できる病院の地域連携室やソーシャルワーカーさん等にお声掛けし集まっていただきました。忙しい中集まってくださったメンバーは少ないですが、ほとんどの訪問した病院が気持ちよく話を聞いてくださったことに感謝です。居住支援という内容にも興味を持たれ、何かあれば連絡しますという返事が数件ありました。

退院支援での問題点は・住まいを突然失った（入院中に家族が処分） ・保証人 ・見守り ・低所得等声があがりましたが、どこにどういう流れで支援を頼むのかというそもそもの悩みがあるように思えます。

現在、塚原氏のNPOには佐賀市生活自立支援センターや認定NPO法人スチューデント・サポート・フェイスから支援の要請が多々寄せられ、解決されています。その事例を紹介された事で、後日相談に伺いますという参加者もいらっしゃり勉強会を開いた意義があったように思います。

飛び入りで、西九州大学看護学科の黒田教授も参加され、積極的に意見を述べられました。大阪時代にホームレス生活者（まさに居住支援が必要な方々）の健康実態を調査・研究されています。

今回、不慣れなためにスムーズな進行が出来なかったことや、出席者へのアンケートを実施しなかった事を踏まえ、次回は改善していきたいと思えます。

